

SoyaLabo10ミーティング

ソウヤラボテン

Program



日時：令和7年10月30日（木） 13:30～15:30

場所：えびなイベントホール

主催：北海道開発局 稚内開発建設部 ・ 北海道 宗谷総合振興局

01

開催挨拶 稚内開発建設部次長 松本 一紀

02

高校生アンケート紹介 稚内開発建設部地域連携課 吉田 賢正

03

意見交換

- ①アンケート結果を見て気になった回答とその理由
- ②R7アンケートの中で高校生にさらに深掘りして聞いてみたい質問とその理由
- ③SoyaLabo10の中で大学生や高校生とともに新たな試みをすれば良いと思うもの。

04

名刺交換

参加者プロフィール

A



F Mわっぴー 取締役局長
稚内地区吹奏楽連盟理事長

すぎや けんしゅん
杉谷 賢俊

札幌市出身。2002年の入社以来、主に音楽・情報番組を担当するほか、北海道防災マスターとして防災番組や防災ラジオも担当し、2020年より取締役局長に就任。その他稚内地区吹奏楽連盟理事長なども務める。

A

(株)谷金物商事 代表取締役
てっぺん塾 塾長 オレンジ通り商店街振興組合理事長

もとやま てつじ
本山 哲司

(株)谷金物商事

稚内市出身。本業の金物屋の他、オレンジ通り商店街振興組合の理事長として、オレンジ通りの昼間の賑わい創出、飲食店の人手不足の解消、新規参入者への支援などを通して、商店街全体の活性化に取り組む。また、稚内信金の若手経営者の会「てっぺん塾」では塾長として、高校生との意見交換会にも参加。

A



(有)ヤマツ津田商店
みなとまちづくりマイスター

たかはし てつや
高橋 哲也

利尻生まれ利尻育ち。6代目として140年の歴史を持つ津田商店を経営する。利尻町の商店街の活性化並びに商工業の振興に寄与すべく「利尻町活性化協議会」の会長に就任。クルーズ船寄港時に合わせた交流イベントを企画・運営し、乗船客へのおもてなしを充実させるなど活動。

A



礼文町移住定住・人材交流拠点施設
「袋澗」 管理人

すずかわ みらい
鈴川 未来

福島県出身。平成31年4月から礼文島地域おこし協力隊に就任。任期終了後、令和4年から礼文町移住定住・人材交流拠点施設「袋澗」管理人・移住定住コーディネーターとして活動。協力隊在籍時は「北のカナリアパーク」などの観光振興、移住定住分野での空き家バンクの立ち上げを担う。子どもにサッカーを教える一面も持つ。

A



ポラリス・ネイチャーガイド &
コンサルタンツ 代表

しまぎき としひろ
嶋崎 暁啓

滝川市生まれ、神奈川県育ち。大学時代に訪れたサロベツの雄大な自然と地域の温かい人々に魅了され、卒業後に移住。サロベツの自然系NPO法人の事務局長としてサロベツ湿原センターの開館や運営に携わり、2022年に独立。現在は豊富町を拠点に、地域の自然に精通したガイド歴15年以上のプロ・ネイチャーガイドとして活躍。子供達への環境教育や動植物調査にも長年携わり、幅広い専門知識、経験を持つ。

B



稚内信用金庫
営業戦略センター 副センター長

くわた だいすけ
桑田 大介

旭川市出身。地域金融機関として、ビジネスマッチング、金融教育、札幌医科大学と連携したメディカル・カフェ、しんきんフェスタ、ウインターフェスなど地域貢献活動に取り組む。

稚内青年会議所・稚内中央商店街・稚内ポイントカード会と連携した中央地区でのイベント開催の立ち上げに参加。

B



NPO法人 街にいき隊PRO 代表
宗谷シーニックバイウエイルート運営代表者会議 副代表

おざき あつし
尾崎 篤志

稚内市出身。2010年に稚内中央商店街振興組合理事長に就任、中心市街地活性化等を目的に「NPO法人 街にいき隊PRO」を設立。2014年には宗谷管内10市町村の情報を発信する「SOYA PARTY」を結成し、2024年には無料の宗谷の旅マップ「流氷とけて」を発刊している。

B



シンガーソングライター
稚内観光大使

えびな ますじ
エビナ マスジ

2001年に稚内出身の兄弟ユニット『SE-NO』(セ-ノ)を弟 蝦名摩守俊氏と共に結成。北海道を中心に精力的に活動し数々のCMタイアップやNHKニュース番組のエンディングテーマなどを担当。稚内市内の学校に積極的にライブを届け、4校に第二校歌を制作する。実家の電器店を音楽ホールに改装した「えびなイベントホール」の運営・企画を担当。昨年で10周年を迎え『笑顔が生まれる場所』を届け続けている。

B



中央水産(株) 代表取締役社長

なかじん ひろき
中陳 大樹

稚内市出身。平成28年9月に代表取締役社長に就任。自社製品「蛸と昆布のアヒージョ」が令和3年度 北海道新技術・新製品開発賞・食品部門大賞を受賞。水産加工品のパッケージデザイン等の開発などの取組により新たな客層を獲得すべく奔走。

B

 藤建設株式会社
宗谷建設青年会 副会長
藤建設株式会社 常務取締役ふじた たくのり
藤田 拓憲

稚内市出身。宗谷建設青年会 副会長として、稚内市内の中学校に対して出前講座を開催するなど、建設業の立場から地元の学生を支援。

C

芳野牧場
NPO法人ミナといかん 代表理事よしの ふくいち
芳野 福一

酪農業の傍ら、自身が暮らす間寒別地区300名の集落の持続可能な地域集落を目指すため、2019年から足掛け5年をかけ、2024年4月に「NPO法人 ミナといかん」を設立。代表理事として方策の柱となる「公共私連携」の実現に向け、地域デマンド交通、住宅の草刈りや除雪、公共施設の維持管理、地域行事支援などの地域活動のリーダーとして活躍する。

C

相沢食料百貨店

(株) 相沢食料百貨店 副社長

ふくま かな
福間 加奈

稚内市出身。稚内駅前中央商店街にある創業103年目のスーパーマーケット「相沢食料百貨店」を経営する4代目。地域性豊かで、食品添加物に頼らない地域ブランド「北のはっこ同盟」を立ち上げ、地域の価値を高める小売のあり方を模索中。

C



杉山牧場

すぎやま あいみ
杉山 愛美

大阪府出身。帯広畜産大学を卒業後、枝幸町で酪農ヘルパーとして2年間働いたのち、2017年に杉山牧場をスタート。大切に育てた牛と最後まで関わりを持ちたいという思いから、乳牛を卒業した経産牛のお肉の販売も始める。

C



memo'tock CEO

さかもと たいち
坂本 太一

東京都出身。コロナをきっかけに道北に移住し、リモートで大学の授業を受けながら起業。「道北地域」をエリアに事業展開し、近隣市町村からの委託事業(地域交通システムの開発など)や観光協会などと協力したお土産品の開発、路線バスを改造した移動飲食店の運営など、様々な挑戦を行っている。

C



北海道

北海道 宗谷総合振興局
地域創生部 地域政策課長かさゆき たかし
笠行 崇志

大阪府出身。道内の大学を卒業後、北海道庁に入庁。道立病院や経済施策、広報担当などを経て、令和6年4月から現職。主に地域創生や移住施策などを担当。



育英館大学 副学長・教授

さが たかひろ
佐賀 孝博

枝幸町出身。稚内北星学園短期大学修了。2000年より4年制大学へ改組転換された稚内北星学園大学情報メディア学部専任講師、助教授、准教授を経て、2009年より教授に就任。2022年より育英館大学に名称変更後も、情報メディア学部情報メディア学科教授として活躍。

現在、副学長・キャリア支援室長を兼任。宗谷管内では稚内市教育委員会委員、北海道枝幸高等学校学校運営協議会委員、北海道稚内高等学校学校評議委員などを務める。専攻分野は情報科学。研究課題は「コンピュータの教育への活用」。

SoyaLabo10ミーティング出席者リスト

日時：令和7年10月30日（木） 13:30～15:30

〔出席者〕

所在	氏名	所属
稚内市	エビナ マスジ	シンガーソングライター 稚内観光大使
稚内市	尾崎 篤志	NPO法人街にいき隊PRO代表 宗谷シーニックバイウエイルート運営代表者会議 副代表
稚内市	笠行 崇志	北海道 宗谷総合振興局 地域創生部 地域政策課長
稚内市	桑田 大介	稚内信用金庫 営業戦略センター 副センター長
稚内市	佐賀 孝博	育英館大学副学長・教授
稚内市	杉谷 賢俊	FMわっぴー 取締役局長 稚内地区吹奏楽連盟理事長
稚内市	中陳 大樹	中央水産(株) 代表取締役社長
稚内市	福間 加奈	(株) 相沢食料百貨店 副社長
稚内市	藤田 拓憲	宗谷建設青年会 副会長 藤建設株式会社 常務取締役
稚内市	本山 哲司	(株)谷金物商事 代表取締役 てっぺん塾 塾長 オレンジ通り商店街振興組合 理事長
浜頓別町	杉山 愛美	杉山牧場 ※WEB参加

豊富町	嶋崎 暁啓	ポラリス・ネイチャーガイズ&コンサルタンツ 代表
礼文町	鈴川 未来	礼文町移住定住・人材交流拠点施設「袋澗」管理人
利尻町	高橋 哲也	(有)ヤマツ津田商店 みなとまちづくりマイスター
幌延町	坂本 太一	memo'tock CEO
幌延町	芳野 福一	芳野牧場 NPO法人 ミナといかん 代表理事

〔事務局〕

所属	氏名	備考
稚内開発建設部	松本 一紀	次長（総務）
稚内開発建設部	吉田 賢正	地域連携課 課長
稚内開発建設部	池下 貴之	地域連携課 課長補佐
稚内開発建設部	渡辺 伸也	地域連携課 上席専門官
稚内開発建設部	上村 豪	地域連携課 係員

